

関西学生就職指導研究会 2023年度第12・13回役員会議事（要旨）

日 時：2024年3月8日（金）16：00～16：45

会 場：オンライン

出席役員：12名

欠席役員：6名

(1) 定期総会・春季研修会について

委員長から当日の会場として大阪経済大学の施設を確保したとの報告があり、会場の都合上、グループワークを実施するには難しい為、総会後の春季研修会については、特に異論がなければ、講演と名刺交換会のみとしたい旨説明があった。また、今回の総会では、「専修学校」が入会に関する問い合わせがあり会則によると大学、短期大学及び高等専門学校となっているので、会則の変更が必要か、また、昨年度から進めている「斡旋ガイドライン」についての意見聴取を行うことから、時間的にタイトとなる為、今回は講演及び名刺交換会とし、開始時間を13:00からとした。

講演についての意見を求められ、今年度は冬季研修会と連続になってしまうが、性格診断や心理テストを用いて自己分析をする学生もいることから「学生の動向についてのパネルディスカッション」、昨年と同じになるが「三省合意のその後の大学、企業の取組」、大阪中小企業投資育成株式会社による「財務から見た優良企業の見分け方」及び京都府の事例で仕事と育児の両立体験を「スリール株式会社」に講演いただくなどの意見が出され、実行委員会にて決定することとなった。

(2) 会則について

事務局長から専門学校から入会の依頼が入り、会則を確認すると、「大学、短期大学及び高等専門学科」となっており、学生と生徒の取扱いの違いなどがあるためどのように対応すればよいか意見を求められた。オープンキャンパスでの事例で、専門学校の就職支援は、内定をもらったら他の法人の受験は認めず、内定先に必ず入社するよう求める学校もあり、大学の就職支援とは学生対応に隔たりがある場合もあるとの意見が出され、大学等の方針と合わなくなる恐れがあるため、会則の改定は行わず、研修会などを開放して情報交換できる場の提供にとどめることとした。

(3) 斡旋ガイドラインについて

事務局長から株式会社リクルートと協働しているところであるが、最近の動向では、新卒採用についての業務を中止するのではないかと推測されるので、このまま交渉を続けても良いかとの意見が出された。株式会社リクルート出身の職員に聞くと、決して撤退する予定はなく、今後も継続する予定であることが確認されたので、このまま継続する

こととなったが、株式会社マイナビの賛同のうえ進めたいため、総会に出す前に一度打診することとした。

また、いろいろ意見をいただいたガイドラインの最終版を案内するので、各役員はもう一度確認してもらいたいとの依頼が出された。

(4) その他

- ・退会の依頼

福井県立大学

姫路日ノ本短期大学

の2校の退会届が出された。

- ・人事異動

大阪商業大学 松林氏（学生支援課へ）

帝塚山大学 中野氏（東生駒キャリアセンターへ）「但し、総会までは引き続き担当」

以上